

～Summer Reading 夏の読書～

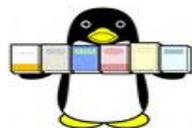


第69回青少年読書感想文全国コンクールの対象図書【課題図書】

『スクラッチ』913㉔ 歌代朔/著
コロナ禍で「総体」が中止になったバレエ部キャプテンの鈴音。美術部部長の千暁が出展する予定の「市郡展」も審査中止。「平常心」と自分に言い聞かせ「カラフルな運動部の群像」の出展作品を描き続ける千暁のキャンパスに、不注意から鈴音が墨を飛ばしてしまい……。コロナ禍で黒く塗りつぶされた中3の夏。その中でもがきながら自分たちらしい生き方をつかみ取っていく中学生の物語。

『人がつくった川・荒川』517 長谷川敦/著
首都圏をつらぬき、流域に約1,000万人が住む荒川。川の流れを変えることで江戸の繁栄は生み出され、度重なる洪水から人々を守ってきた。川の歴史と流域の暮らしの変化を丁寧に追いながら、その過去・現在・未来を旅する。

『アップステージ』9137 ダイアナ・ハーモン・アシャー/著
シャイで目立つことが嫌いなシーラ。でも、心の中では「学校ミュージカルに出演したい!」と思っていて……。ミュージカルの幕が開くまでのドタバタを描く、ユーモアいっぱいのお話。原題の「アップステージ」とは舞台上で主役がかすむようなことをする、という意味がある。



戦争を知ろう

『ぼくは満員電車で原爆を浴びた』916㉓ 米澤鐵志/語り 由井りょう子/文

1945年8月6日、広島に原爆が落とされた。爆心地から750メートルの満員電車の中で被爆し、奇跡的に生き残った当時11歳の著者が、8月6日の自身の体験とその後起こったことを語る。

『同志少女よ、敵を撃て』9137 逢坂冬馬/著

独ソ戦が激化する1942年、母をドイツ軍に惨殺され、赤軍の女性兵士に救われた少女セラフィマは、復讐のため、訓練学校で一流の狙撃兵になることを決意する。訓練を重ねた彼女は、やがてスターリングランドの前線へ……。

2022年本屋大賞・アガサクリスティ賞大賞等受賞作です。

『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら』913㉔ 汐見夏衛/著

母親とケンカして家を飛び出した中2の百合。目をさますとそこは戦中の日本だった。偶然通りかかったイケメン・彰に助けられた百合は、彼に惹かれていく。しかし、彼は特攻隊員で、ほどなく命を懸けて戦地に飛び立つ運命だった……。

2023年12月映画化決定!

読むなら今でしょ！



中学生のキミに読んでほしい司書のイチオシ！！

『金の角持つ子どもたち』 9137

藤岡陽子/著

突然、日本最難関と言われる中学を受験したいと両親に打ち明けた俊介。家計も厳しい中、息子の夢を応援することを決めた両親は決意。俊介の塾通いが始まる。だが、彼には誰にも言えない秘密があって・・・。

『クロニクル千古の闇 オオカミ族の少年』

933^ ミシェル・ペイヴァー/著

紀元前4千年の森。巨大なクマの姿をした悪霊に襲われた父との誓いを守り、精霊の山を探す旅に出たトラク。道連れは、生まれて間もない子オオカミのウルフ。案内役とは？精霊に捧げるナヌアクとは？いよいよ冒険がはじまる！全6巻読み出したら止まらない。

新書を読んでみよう！

新書は、多岐のテーマにわたり、若い人にナビ的な作用を果たす要素をもっています。

新書を読んで教養を身につけ考える力を育てよう



実は、岩波ジュニア新書は、入試（主に国語）や模擬試験にもよく出題されています。さまざまなテーマをわかりやすく解説しているので問題に使いやすのだとか・・・。興味のあるものから読んでみてはいかがでしょうか？

『ネット情報におぼれない学び方』

002 梅澤貴典/著

確かな情報で考える術を学べば、鬼に金棒！ネット時代の学びに即した情報の探し方や使い方、さらにはアウトプットの仕方を図書館司書の見地から丁寧に解説する。

『10代の悩みに効くマンガ、あります！』

159 トミヤマユミコ/著

10代は楽しいことも多い一方で、友達や親との関係にモヤモヤしたり、進路や将来をあれこれ考えたり、見た目やSNSに神経を使ったりとけっこう大変！そんな悩み多き10代を、多種多様なマンガを通してお助けします。読めば解決！とまではいなくても、萎縮したところからだがふわっと軽くなること間違いなしの一冊です。

受験対策もこれで万全！

『受験脳の作り方』

池谷裕二/著 375

「海馬」は記憶を司る部位。だが、脳は蓄えるより忘れていくほうが多いのだ。試験前に徹夜で詰め込んだ記憶は、あっけなく消えてゆく。しかし、興味のあるものはすぐに覚えられるし、バイオリズムをつかめば、記憶効率は上がる。この本を読んで脳の性質を知れば、「たった2ヶ月で効果が出るほうがおかしい」と感じ、さらに努力を続けられるはず。夏休みの勉強の効果が現れるのは、早くても秋以降。さあ、みなさん、がんばろう。

『勉強が面白くなる瞬間』 370

パク・ソンヒョク/著

「もっと勉強しておけばよかった」なんて後悔しない人生を送ろう！受験大国・韓国で45万人が読んだ伝説のバイブル。

韓国は言わずと知れた学歴社会。学歴がその人の人生をほぼ決めるため、大学入試は韓国をあげての一大イベント。「どうやって」勉強するのかではなく、「なぜ」勉強するのかを、著者の経験を交えて紹介する。この本を通して自ら勉強する理由が見つかるかも・・・。

★本の内容紹介は各出版社商品紹介などから抜粋★

新しく入った本

おもしろい本、読みたい人はこの指と一まれ！



『偏差値70の野球部レベル1』 913マ

松尾清貴/著

甲子園常連校への野球推薦を逃した新真之介は、一般入試で高校に進学する。ところが、合格したのは野球の名門ならぬ、東京大学合格者数全国1位の超進学校だった。入学早々、同級生に違和感を覚えながら、真之介は野球部を探す。そして見つけた野球部で出会ったのは、ドイツ語教師でサッカーしか知らない外国人の野球部監督だった。彼の策略で真之介は「2年で甲子園に出る」約束をさせられてしまうのだが……。

『地球の歩き方千葉 2023～24』 294

日帰り旅行から滞在型の旅まで、千葉をじっくり楽しみたい人のためのガイドブック。

圧倒的な情報量で、いまだかつてない深い「千葉」の魅力をお届けする。定番スポットはもちろん今がトレンドのグランピングなど千葉の新・旧も織り交ぜて紹介。

ガイドブックでは異例の、千葉の歴史を掘り下げる「年表」ページも収録。

『両手にトカレフ』 913フ

フレディみかこ/著

寒い冬の朝、14歳のミアは、短くなった制服のスカートをはき、図書館の前に立っていた。そこで出会ったのは、カネコフミコの自伝。フミコは「別の世界」を見ることができる稀有な人だったという。本を夢中で読み進めるうち、ミアは同級生の誰よりもフミコを近くに感じられた。一方、学校では自分の重い現実を誰にも話してはいけないと思っていた。けれど、同級生のウィルにラップのリリックを書いてほしいと頼まれたことで、彼女の「世界」は少しずつ変わり始める。

★本の内容紹介は各出版社所品紹介などから抜粋★

【新しく入った本】

【書名】

きらきら眼鏡

渡りの足跡

月の満ち欠け

百花

キアズマ

あるようなないような

おいしいごはんが食べられますように

夜空に泳ぐチョコレートグラミー

春や春

短歌のガチャポン

【著者名】

森沢明夫

梨木香歩

佐藤正午

川村元気

近藤史恵

川上弘美

高瀬隼子

町田そのこ

森谷明子

穂村弘

【出版社】

双葉文庫

新潮文庫

岩波文庫

文春文庫

新潮文庫

中央文庫

講談社

新潮文庫

光文社

小学館



これからも新しい本が入荷予定です。

入荷されたらすぐに展示しますので、ぜひ図書館をのぞいてみてね！